

1. R5芽室町議会活性化計画主要事業

「分かりやすい議会、開かれた議会、行動する議会」を目指して

主要3項目

1 議会運営の基本理念と基本方針の共有

C 実行・継続

→「議会基本条例」の点検と検証

→新たな議会運営（第3ステージ）に向けた体制構築

2 多様な議員のなり手実現に向けての環境創出

C 実行・継続

→議員定数・報酬のあり方の再考

→議員のなり手不足解消に向けた方策再考

3 議員間討議を前提とした政策形成サイクルの再起動

C 実行・継続

→計画的な協議・議論に基づく機能的な政策提案

→町民の声を議会の行動につなげる機動的な政策形成の実践

A=おおむね達成した
 B=達成しているが改善余地あり
 C=達成していない
 D=取り組んでいない

②改善・新規活性化5事項

項目		内容	達成時期
■新規事項	区分		
1. 外部評価による議会活動の精査と向上	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・議員研修・議員間討議による議会活動の目標設定(前年度未達事項) ・議会モニターによる外部評価(前年度未達事項) 	R6年3月
2. 自己評価制度の分析と改善	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・HOPS提言に基づく議会内検証(議員間討議の活用) ・議会サポーターの専門的知見の活用(諮問会議答申事項) 	R7年3月
3. 情報公開の点検と見直し	新規	<ul style="list-style-type: none"> ・検討スケジュール(検討項目・優先順位等)の整理(諮問会議答申事項) ・「芽室町議会の個人情報の保護に関する条例」の理解と実践 ・わかりやすい「議会活性化計画書」への検討と改正(HOPS提案事項) ・読まれる「議会白書」への検討と改正(HOPS提案事項) 	R6年3月
4. 広報広聴の機能拡充と手法の改善	新規	<ul style="list-style-type: none"> ・議会モニター機能の拡充(改正モニター規程の効果・効率的な運用) ・町民との意見交換会の手法改善(諮問会議答申事項) ・専門技術(民間活力)を活用した広報の検討(諮問会議答申事項) 	R6年3月
5. 多様な議員のなり手実現に向けて検証	新規	<ul style="list-style-type: none"> ・議員間討議の実施 ・目的の明確化と事業内容の協議、検討 ・「(仮称)議員のしくみ」等広報の検討 ・政務活動費の導入検討 ・活動量の精査と質の向上→定数と報酬の根拠(諮問会議答申事項) 	R7年3月

[R 5年度評価] ⇒

進捗状況	研修や議員間討議を通じて「外部評価」についての共通認識を図った。									
達成評価	A 目標達成	B 概ね達成	C 未達成	D 未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考	令和5年6月28日(水)に木全洋一郎氏(JICA 北海道・道東業務代表)を招いて研修会を開催し「議会活動における外部評価」について、全議員で学びを深めた。また、令和6年1月15日(月)には、全員協議会において「外部評価による議会活動の精査と向上について」と題し、グループワークを用いて議員間討議を実施した。議員間討議の結果、外部評価の評価者は、「議会モニター(経験者)及び議会改革諮問会議委員」が適当と結論付け、各事業においては、目的を明確に設定すること等について共通認識を図った。これらのことから、令和5年度当初に取り組む予定の「外部評価の目的・目標の共通認識」は「概ね達成」と評価し、次年度へ継続して取り組むこととする。									

[R 6年度評価] ⇒

進捗状況										
達成評価	A 目標達成	B 概ね達成	C 未達成	D 未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

[R 年度評価] ⇒

進捗状況										
達成評価	A 目標達成	B 概ね達成	C 未達成	D 未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

[R 5年度評価] ⇒

進捗状況	令和5年度は改選期であり、1期生議員が現行の自己評価を実践後に見直すこととし、例年通りの実施とした。なお、次年度見直しに向けての議員アンケートを実施した。									
達成評価	A 目標達成	B 概ね達成	C 未達成	D 未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考	令和5年度は改選期であり、自己評価の目的、意義の共通認識を図ることを目的として、議員アンケートを実施した。令和6年度にはアンケート結果を基に検証を行う。									

[R 6年度評価] ⇒

進捗状況										
達成評価	A 目標達成	B 概ね達成	C 未達成	D 未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

[R 年度評価] ⇒

進捗状況										
達成評価	A 目標達成	B 概ね達成	C 未達成	D 未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

[R 5年度評価] ⇒

進捗状況	「情報公開・個人情報保護」に係る基礎知識会得の研修を年度当初に計画したが、講師との日程調整が整わず未実施となった。令和6年度に引き続き取り組む事項とする。なお、「わかりやすい情報公開」として、「活性化計画書・白書」の見直しも未達となり、同じく令和6年度早々に取り組む事項とする。									
達成評価	A目標達成	B概ね達成	C未達成	D未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考	「情報公開の点検と見直し」については、議会内部の共通認識を図るために一定の時間を要することや、関係機関等（研修講師）との調整も必要なことから全般に取り組みが遅れている。3項目の優先度と実現性を精査し、令和6年度からの活動に精力的に取り組むこととする。									

[R 6年度評価] ⇒

進捗状況										
達成評価	A目標達成	B概ね達成	C未達成	D未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

[R 年度評価] ⇒

進捗状況										
達成評価	A目標達成	B概ね達成	C未達成	D未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

[R 5年度評価] ⇒

進捗状況	「町民との意見交換会」の手法の見直し、「議員個人ページの充実」などに取組んだが達成したとは言えない。									
達成評価	A 目標達成	B 概ね達成	C 未達成	D 未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考	モニター会議は、それぞれテーマを設定して2回開催した（8月・11月）。「町民との意見交換会」については、開催手法の見直しに向けて取組んだが、実現には至らなかった（7～10月）。また、今年度は新嵐山スカイパークが休業となる事態となり、そこに至るまでの議会の取組み（特別委員会設置、補正予算否決等）について、議会報告会を開催した（10月）。「議会のトリセツ」については、未着手であり、「議員個人ページの充実」については、検討を重ねたが（10～12月）実現には至らず、令和6年度に向けて引き続き取組むこととする。									

[R 6年度評価] ⇒

進捗状況										
達成評価	A 目標達成	B 概ね達成	C 未達成	D 未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

[R 年度評価] ⇒

進捗状況										
達成評価	A 目標達成	B 概ね達成	C 未達成	D 未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

進捗工程表

達成時期：R7年3月

所管委員会：議会運営委員会

施策（事業）名：5 多様な議員のなり手実現に向けての検証

【現 状】

- 2023年の町議選は無投票だった。多様な議員のなり手実現に向けた環境創出の再考が必要。
- 高校生との連携事業等（白樺高校、芽室高校）について、目的の明確化、事業内容の協議・検討が必要。

【目指す姿（目標）】

- 個別事業の目的と効果・成果を明確にする。
- 多様な町民が議員を志すことができる

【課題・政策】

- 議会改革諮問会議の答申を尊重し、議員の「働き方改革」を念頭に置き、公務としての活動量は「報酬と定数の根拠」になることを意識して検討する。
- 多様な議員のなり手を目指した「(仮称)議員のしくみ」等専門技術を活用した広報の検討
- 政務活動費の導入の検討、定数と報酬のあり方の再考
- 高校生との連携事業等の目的と目標の明確化、事業内容の協議、検討

[取組内容]

- ・議員間討議の充実
- ・高校生との連携事業等についての目的の明確化と事業内容の協議、検討
- ・「(仮称)議員のしくみ」等広報の検討
- ・政務活動費の導入検討

[工程詳細]

項 目	R 5 年度		R 6 年度		R 7 年度		R 8 年度		備考
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
議員間討議の実施				→					
高校生との連携事業等についての目的の明確化と事業内容の協議、検討		→							

「(仮称)議員のしくみ」等 広報の検討									
政務活動費の導入検討									

[R5年度評価] ⇒

進捗状況	議員間討議を実施しながら課題解決に取り組んだ。政務活動費については先進地調査を実施（釧路町）。高校生との事業（白樺高校との包括連携協定事業・芽室高校との意見交換会）については、実施目的について一定整理して実施した。									
達成評価	A 目標達成	B 概ね達成	C 未達成	D 未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考	各常任委員会及び全員協議会の場を活用して議員間討議を実施し、課題解決に向けた取り組みを行った。引き続き議員間討議の精度を上げていく。政務活動費については、釧路町の先進地事務調査を実施した。令和6年度に詳細の検討を進める。高校生との事業については、「①地方自治の担い手意識の醸成（政策反映を大前提とする）」、「②議会活動の認知度向上を図る。」「③生徒たちが自分の住むまちのことについて関心を持てること。」として整理して実施した。									

[R6年度評価] ⇒

進捗状況										
達成評価	A 目標達成	B 概ね達成	C 未達成	D 未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

[R 年度評価] ⇒

進捗状況										
達成評価	A 目標達成	B 概ね達成	C 未達成	D 未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										